

2025/26 ショートトラック国際競技会派遣選手選考基準

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

- (1) 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
- (2) JSF 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

- (1) 国際スケート連盟 (ISU) およびその他の主催団体によって以下の通り制限される。
 - a. ISU およびその他の主催団体による各国際競技会への日本の出場可能人数
 - b. ISU による年齢制限 (ISU 一般規程 第 108 条 2 項)
 - c. ISU による参加標準記録
- (2) 日本スケート連盟による派遣標準記録 (別紙) を設定し、条件を満たした選手を派遣対象とする。

【特記事項】

- (1) ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- (2) 個人種目へのエントリーは、対象競技会における各距離の成績を尊重するが、選手の適性を考慮して当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び当該大会の日本代表選手団ヘッドコーチ (以下、この 3 名を「エントリー検討メンバー」という) の協議によって、編成方針を踏まえた総合的な検討のうえ決定する。エントリー検討メンバー内で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。
- (3) チーム種目へのエントリーは、日本代表選手団ヘッドコーチを中心に、当該競技会に派遣されたコーチングスタッフによって、編成方針を踏まえた総合的な検討によって決定する。ここで意見の一致に至らなかった場合は、エントリー検討メンバーの協議により決定する。エントリー検討メンバー内で意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。
- (4) 本選考基準において、当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者 (選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く) の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- (5) 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討し、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と変更することができる。

1. 2025/26 ショートトラックワールドツアー第1戦～第4戦

【開催場所、期間】

第1戦:カナダ(モントリオール)、2025年10月9日～10月12日

第2戦:カナダ(モントリオール)、2025年10月16日～10月19日

第3戦:ポーランド(グダニスク)、2025年11月20日～11月23日

第4戦:オランダ(ドルドレヒト)、2025年11月27日～11月30日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各 6 名(合計最大 12 名)

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000m リレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

男女混合:ミックスチーム 2000m リレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2008年6月30日以前に生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ① 第36回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2025年9月13日～9月14日)
- ② 2025/26 ショートトラックワールドツアー日本代表選手選考競技会(長野県南佐久郡南牧村、2025年9月20日～9月21日)

男女最大各6名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会①に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または9周のいずれかで派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。

ただし、派遣標準Aの条件を満たした選手が派遣標準Bの条件を満たした選手より優先する。たとえば、下記(2)において、派遣標準Bの条件のみを満たした選手が、派遣標準Aの条件を満たした選手よりも2回の合計ポイントが大きかった場合は、後者を優先する。

なお、上記タイムトライアルに参加したものの派遣標準記録AとBいずれの条件も満たしていない選手が、下記(2)で最上位者となった場合は、対象競技会の最終日終了直後に追加のタイムトライアルを実施し、派遣標準記録Aの基準を満たした場合は選考対象に含める。

- (2) 対象競技会において、各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与する。それぞれの距離において2回の合計ポイントが最も大きい選手を選考する。合計ポイントが同じ場合は、対象競技会②の獲得ポイントが大きい選手を優先する。
- (3) 次に、上記(2)で選考された選手を除き、ひとつの距離の合計ポイントが最も大きい選手から順に、(2)で選考された選手と合わせて4名までを選考する。このとき、同一の選手は1回だけカウントする。合計ポイントが同じ場合は、より短い距離で獲得した選手を優先し、同一距離内での合計ポイントが同じ場合は、

対象競技会②の獲得ポイントが大きい選手を優先する。

- (4) 上記(2)および(3)で選考された選手を含めて、各人がひとつの距離で獲得した最も大きい合計ポイントを順に並べたときの上位 10 位以内の選手を対象として、当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議により、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって男女それぞれ 1 名を選考する。
- (5) 上記(2)～(4)で選考された選手を除き、いずれかの距離の合計ポイントが当該距離において(2)～(4)の者を含めて上位 3 位以内の選手がいる場合は、6 番目の選手として選考する。対象者が複数いる場合は、より上位の選手を優先し、同一順位の選手が複数いる場合はより短い距離の成績を優先する。同一距離内での合計ポイントが同じ場合は、対象競技会②の獲得ポイントが大きい選手を優先する。
- (6) 上記(2)～(5)で選考された正選手を除き、各人がひとつの距離で獲得した最も大きい合計ポイントを順に並べたときの上位者から、男女それぞれ最大 3 名を補欠選手として選考する。合計ポイントが同じ場合は、より短い距離で獲得した選手を優先し、同一距離内での合計ポイントが同じ場合は、対象競技会②の獲得ポイントが大きい選手を優先する。
- (7) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手は、ワールドツアー第 1 戦～第 4 戦と、ジュニアワールドカップ第 1 戦～第 2 戦のいずれかを選択するものとする。
- ・ 2024/25 シーズンのワールドツアーおよび世界選手権の個人種目において、複数回の 8 位以内入賞を果たした選手が、医学的な理由で対象競技会に参加できない場合には、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に、派遣対象大会に出場が可能と見込まれる状態であれば、強化部委員会で協議の上、上記(4)の選手と交替することができるものとする。

2. 世界ショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

カナダ(モントリオール)、2026年3月13日～3月15日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女各3または5名(合計最大10名)

※ISUより、後日通知される内容による。

※リレー出場権はワールドツアーでの最終ランキングにより決定される(この出場権を得た場合、男女それぞれ最大5名の派遣が可能となる)。

【枠数】

男子:500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、5000mリレー(1)※

女子:500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、3000mリレー(1)※

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)※

※リレー種目の出場権は、ワールドツアーでの最終ランキングにより決定される。

【選考基準】

対象選手:

- ・2008年6月30日以前に生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ① 第36回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2025年9月13～9月14日)
- ② 2025/26 ショートトラックワールドツアー日本代表選手選考競技会(長野県南佐久郡南牧村、2025年9月20日～9月21日)
- ③ 第48回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(東京都江東区、2025年12月13～12月14日)
- ④ 2025/26 ショートトラックワールドツアー第1戦～第4戦

男女最大各5名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会③に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または9周のいずれかで当該年度の派遣標準記録(別紙)以内で滑走した選手を選考対象とする。
ただし、派遣標準Aの条件を満たした選手が派遣標準Bの条件を満たした選手より優先する。たとえば、下記(2)において、派遣標準Bの条件のみを満たした選手が、派遣標準Aの条件を満たした選手よりも2回の合計ポイントで大きかった場合は、後者を優先する。
- (2) 男子または女子リレーの出場枠を獲得した場合、男女それぞれ5名の正選手は、第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)の日本代表となった選手(補欠を除く)を選考する。枠を満たさなかった場合は、対象競技会③で実施される各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から選考する。同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先

する。

- (3) 男子または女子リレーの出場枠が配分されなかった場合、男女それぞれ3名の正選手は、第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)の日本代表となった選手(補欠を除く)を選考する。枠を満たさなかった場合は、対象競技会③で実施される各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から選考する。同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された正選手を除き、対象競技会③で実施される3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、男女それぞれ最大3名を補欠選手として選考する。同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

3. ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦

【開催場所、期間】

第1戦:カザフスタン(アスタナ)、2025年11月7日～11月9日

第2戦:カザフスタン(アスタナ)、2025年11月13日～11月15日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名(合計最大8名)

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

※第1戦は1000mが2回、第2戦は500mが2回実施される

【選考基準】

対象選手:

- ・2006年7月1日から2010年6月30日までに生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ① 第36回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2025年9月13日～9月14日)

男女最大各4名の正選手及び最大各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会①において、対象年齢の選手による距離別順位リストを作成する。
- (2) (1)のリストにおいて、各距離で最上位の選手を選考する。
- (3) 次に、各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、対象競技会①で実施される3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、上記(2)で選考された選手を含めて4名を選考する。同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先する。
- (4) 上記(2)および(3)で選考された正選手を除き、対象競技会①で実施される3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、男女それぞれ3名を補欠選手として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ワールドツアーおよびジュニアワールドカップの双方に選考される可能性がある選手は、ワールドツアー第1戦～第4戦と、ジュニアワールドカップ第1戦～第2戦のいずれかを選択するものとする。

4. 世界ジュニアショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

アメリカ(ソルトレークシティ)、2026年1月29日～2月1日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名(合計最大8名)

※ISUより、後日通知される内容による。

【枠数】

男子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

女子:500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000mリレー(1)

男女混合:ミックスチーム2000mリレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・2006年7月1日から2010年6月30日までに生まれた者(ISU一般規程第108条2項)とする。

対象競技会:

- ① 第45回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会(長野県南牧村、2026年1月10日～1月11日)

男女最大各4名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 対象競技会①において、各距離で第1位の選手を選考する。
- (2) 次に、各距離の距離別順位に対して別表のポイントを付与し、対象競技会①で実施される3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、上記(1)で選考された選手を含めて4名を選考する。同点の場合は1距離の獲得ポイントが大きい選手を優先し、それも同じ場合は、3距離目のポイントが大きい選手を優先する。
- (3) 上記(1)および(2)で選考された正選手を除き、対象競技会①で実施される3距離で獲得するポイントのうち、大きいポイント2つの合計ポイントの上位者から、男女それぞれ3名を補欠選手として選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

5. 2025 アジアンオープンショートトラックトロフィー (2024/07/24 選考基準発表済)

【開催場所、期間】

インド(デヘラドゥーン)、2025年8月20日～8月23日

【選考方針】

日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から、対象競技会の結果に基づいて選考する。

【派遣可能人数】

ジュニアB: 2009年7月1日～2010年6月30日に生まれた男女各2名 ※1年のみ

ジュニアC: 2010年7月1日～2012年6月30日に生まれた男女各2名

【枠数】

ジュニアB(男女): 500m(2)、1000m(2)、1500m(2)、ミックスチーム2000mリレー(1)

ジュニアC(男女): 500m(2)、777m(2)、1000m(2)、ミックスチーム2000mリレー(1)

※ ASU の発表によって、変更の可能性がある

【選考基準】

対象競技会:

① 2024/25 全日本ノービスカップショートトラックスピードスケート競技会

※ 第1戦: 神奈川県相模原市、2024年11月16～11月17日

※ 第2戦: 兵庫県神戸市、2025年3月22日～3月23日

各カテゴリー男女最大各2名の正選手及び最大各2名の補欠選手を以下の手順で選考する。

(1) 対象競技会2大会における500m、1000m、1500mスーパーファイナルの各距離別順位に対して、1位34点、2位21点、3位13点、4位8点、5位5点、6位3点、7位2点、8位1点を与え、全6距離(2大会×3距離)中得点の高い3距離分(各大会の同一距離は別の距離として2距離と数える)の得点を合計して選考ランキングを作成する。合計得点が同点の場合は、2大会における500mのベストタイムが速い者を上位とする。このランキングに基づき、派遣可能人数を満たすまで、同様の方法で順位を繰り下げて選考する。

(2) 上記(2)で選考された者を除き、(2)と同様の方法で上位から男女最大各2名を補欠として選考する。

(3) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

~~→ ASU の決定により、本大会は実施されない可能性がある。~~

~~→ ASU が発表する大会要項の内容によって、上記選考基準を変更する場合がある。~~

第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ) 日本代表選手選考基準

※ オリンピック出場枠に関連して国際スケート連盟(ISU)から通知される内容によって、下記選考基準が適合しない部分が発生した場合は変更される場合がある。

【決定の方法】

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックへの派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

- (1) 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
- (2) 個人種目の成績に加え、日本代表として十分な活躍が期待できるチーム種目(男子 5000m リレー、女子 3000m リレー及び男女混合 2000m リレー)での適性を考慮して選考する。
- (3) 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

以下の通り制限される。

- (1) ISU によるオリンピック特別参加資格のクラス分け(SOQC)によるエントリー枠数(クォータ)
- (2) ISU による参加標準記録
- (3) ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックに関する最新 ISU コミュニケーションの詳細
- (4) 日本オリンピック委員会(JOC)により日本スケート連盟に与えられる参加選手枠数
- (5) 日本スケート連盟による派遣標準記録(別紙)を設定し、条件を満たした選手を派遣対象とする。

【選考用ランキング】

- (1) 対象競技会①～③における各距離の距離別順位を、別表に基づいてポイント換算し、各距離それぞれ上位2大会のポイントを合算する。
- (2) 1000m の合計ポイントと、500m または 1500m の合計ポイントが大きい方を合算し、その合計ポイントの上位から順位を付し、選考用ランキングとする。

【特記事項】

- (1) ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- (2) 個人及びチーム種目へのエントリーは、当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック

強化部長及び日本代表チームヘッドコーチが、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピックでの活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。

- (3) 本選考基準において、当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者(選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く)の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- (4) 2025/26 ショートトラックワールドツアー(STWT)第 4 戦終了後、下記選考基準(2)a~c または(3)a、(4)a に従って選考された選手が第 48 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会に出場した場合、当該選手はミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック日本代表としての権利を放棄したものとし、これによって空いた枠については、下記選考基準の手順に従った優先順で選考する。なお、ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック日本代表としての権利を放棄した当該選手が、下記選考基準を再び満たしたとしても、日本代表には選考しない。
- (5) 本大会に選考された選手は、世界ジュニアショートトラック選手権の日本代表には選考しない。
- (6) 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と入れ替える場合がある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。

【派遣可能人数】

SOQC によって日本に配分されたクォータにより、以下の通り設定される。

- (1) 男子または女子リレーの出場枠が配分された場合: 男女各最大 5 名
※ ただし、これらのリレーの出場枠配分のみでは男女最大 4 名に限定される。5 人目の枠を獲得するためには、SOQC において獲得した個人種目(500m、1000m、1500m)における枠の総数(各種目 3 枠で合計 9 枠)が 8 枠以上となる必要がある。
- (2) 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合: 男女各最大 3 名

【枠数】

SOQC により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子: 500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、5000m リレー(1)

女子: 500m(3)、1000m(3)、1500m(3)、3000m リレー(1)

男女混合: 男女混合 2000m リレー(1)

【選考基準】

対象選手:

- ・ 2008 年 6 月 30 日以前に生まれた者(ISU 一般規程第 108 条 2 項)とする。

対象競技会:

- ① 第 36 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2025 年 9 月 13~9 月 14 日)

- ② 2025/26 ショートトラックワールドツアー日本代表選手選考競技会(長野県南佐久郡南牧村、2025年9月20日～9月21日)
- ③ 第48回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(東京都江東区、2025年12月13～12月14日)
- ④ 2025/26 ショートトラックワールドツアー第1戦～第4戦

- (1) 対象競技会③に先立ち実施するショートトラック強化部主催のタイムトライアルにおいて、2.5周または9周のいずれかで当該年度の派遣標準記録(別紙)以内に滑走した選手を選考対象とする。
ただし、派遣標準Aの条件を満たした選手が派遣標準Bの条件を満たした選手より優先する。たとえば、下記(2)において、派遣標準Bの条件のみを満たした選手が、派遣標準Aの条件を満たした選手よりも2回の合計ポイントで大きかった場合は、後者を優先する。
- (2) 男子または女子リレーの出場枠が配分された場合、男女それぞれ4名の正選手を以下の通り選考する。
 - a. STWT第1戦～第4戦のいずれかの個人種目において、距離別順位5位以内の成績を収めた選手を対象に各距離で最大1名を選考する。同一距離において複数の該当者がいる場合は最上位の成績の選手を選考し、最上位の成績を持つ選手が複数いる場合は、当該距離における当該選手の2番目の成績が上位の者を選考する。2番目の成績も同一の場合は3番目の成績とし、以下同様に比較し、上位者を選考する。同一選手が複数の距離で5位以内の成績を収め、最上位者となった場合、次点の選手は選考対象としない。
 - b. 上記①において選考される選手が、男女それぞれで3名に満たない場合は、STWT第1戦～第4戦における男子5000mリレー、女子3000mリレー、男女混合2000mリレーのいずれかに出場した選手を対象として、当該年度のJOCハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議により、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって、(2)aで選考される選手と合わせて男女それぞれ3名までを選考する。
 - c. 男女それぞれ5人目の枠を獲得した場合、上記(2)aおよびbで選考される選手以外を対象に、上記(2)bと同様の方法で男女それぞれ1名を追加で選考する。
 - d. 残りの男女それぞれ1名の正選手は、以下のiおよびiiの選手を対象として、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。
 - i STWT第1戦～第4戦のいずれかにおいて日本代表となった選手(補欠を除く)。
 - ii 特記事項に従って、選考ランキングの上位5名。選考ランキングのポイントが同点の選手が複数いて、ポイントのみで上位5名が確定しない場合は、対象競技会①～③の500mにおけるベストタイムが上位の選手を優先する。
- (3) 男子または女子リレーの出場枠が配分されず、男女混合2000mリレーの出場枠が配分された場合は、配分されたエントリー枠に対応した正選手を以下の通り選考する。
 - a1. 男女双方が3名のエントリー枠だった場合は、STWT第1戦～第4戦のいずれかの男女混合2000mリレーに出場した選手を対象として、当該年度のJOCハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議により、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって男女それぞれ2名の正選手を選考する。
 - a2. 男女双方が3名のエントリー枠だった場合における残りの男女それぞれ1名の正選手は、以下のiお

- および ii の選手を対象として、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。
- i STWT 第 1 戦～第 4 戦のいずれかにおいて日本代表となった選手(補欠を除く)。
 - ii 特記事項に従って、選考ランキングの上位 5 名。選考ランキングのポイントが同点の選手が複数いて、ポイントのみで上位 5 名が確定しない場合は、対象競技会①～③の 500m におけるベストタイムが上位の選手を優先する。
- b. 男女のいずれかが 2 名のエントリー枠だった場合、男女それぞれ 2 または 3 名の正選手は、以下の i および ii の選手を対象として、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。
- i STWT 第 1 戦～第 4 戦のいずれかにおいて日本代表となった選手(補欠を除く)。
 - ii 特記事項に従って、選考ランキングの上位 5 名。選考ランキングのポイントが同点の選手が複数いて、ポイントのみで上位 5 名が確定しない場合は、対象競技会①～③の 500m におけるベストタイムが上位の選手を優先する。
- (4) 男子または女子リレーおよび男女混合 2000m リレーの出場枠が配分されなかった場合は、以下の手順で選考する。
- a. 男女それぞれ 2 名以上のエントリー枠だった場合、STWT 第 1 戦～第 4 戦のいずれかの個人種目において、距離別順位 5 位以内の成績を収めた選手を対象に、より上位の選手を優先して、エントリー枠から 1 名を除いた数までの正選手を選考する。同順位の成績を持つ対象者が複数いる場合は、距離を問わず当該選手の 2 番目の成績が上位の者を優先する。2 番目の成績も同一の場合は 3 番目の成績とし、以下同様に比較し、上位者を選考する。
 - b. 残りの男女それぞれ 1 名の正選手は、選考ランキングの最上位の選手を選考する。選考ランキングのポイントが同点の選手が複数いて、ポイントのみで最上位者が確定しない場合は、対象競技会①～③の 500m におけるベストタイムが上位の選手を優先する。
- (5) 補欠選手は、男子又は女子リレーの出場枠の有無により、以下の通り選考する。
- a. 男子又は女子リレーの出場枠が配分された場合、正選手との合計が男女各 8 名に達するように補欠選手を選考する。この 4 名又は 3 名の補欠選手は、上記(2)で選考された選手を除いた選考ランキングにおける上位 6 名を対象とし、当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議によるリレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって、選考する。
 - b. 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合、男女各 3 名の補欠選手を選考する。男女各 3 名の補欠選手は、上記(3)または(4)で選考された選手を除いた選考ランキングにおける上位 5 名を対象とし、当該年度の JOC ハイパフォーマンスディレクター、ショートトラック強化部長及び日本代表チームヘッドコーチの協議による選考方針を踏まえた総合的な検討によって、選考する。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

2025/26 ショートトラック国際競技会派遣選手選考用順位ポイント表

(公財)日本スケート連盟
ショートトラック強化部

順位	ポイント	順位	ポイント	順位	ポイント
1	1000	16	35	31	14
2	800	17	28	32	13
3	640	18	27	33	12
4	512	19	26	34	11
5	410	20	25	35	10
6	328	21	24	36	9
7	262	22	23	37	8
8	210	23	22	38	7
9	168	24	21	39	6
10	134	25	20	40	5
11	107	26	19	41	4
12	86	27	18	42	3
13	69	28	17	43	2
14	55	29	16	44	1
15	44	30	15	others	1

- ※ 複数の選手が同順位の場合は、当該順位のポイントをそれぞれに付与する。(例:第 30 位に 3 名いる場合はそれぞれに 15 点を付与し、第 33 位には 12 点が付与される)
- ※ 最初のラウンドで PEN を科された場合は出場人数+1 の順位ポイントを付与する。
- ※ YC, RC を科された場合は当該距離のポイントは付与されない。

2025/26 ショートトラック国際競技会派遣標準記録

(公財)日本スケート連盟
ショートトラック強化部

性別	距離	派遣標準 A	派遣標準 B
女子	2.5 周	25.140	25.349
	9 周	1:29.996	1:31.830
男子	2.5 周	23.766	23.905
	9 周	1:24.892	1:26.178

- ※ 適用対象となる国際競技会は、第 25 回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナ)および 2025/26 シーズンの世界ショートトラック選手権大会、ワールドツアー第 1 戦～第 4 戦とする。タイムトライアルの実施要項は、別途ショートトラック強化メーリングリストを通じて配信する。

- ※ いずれかの距離で上記の標準記録以内のタイムで滑走すれば、条件を満たすものとし、2026 年 3 月 31 日まで有効とする。ただし、派遣標準 A の条件を満たした選手が派遣標準 B の条件を満たした選手より優先する。したがって、派遣標準 A の条件を満たした選手が当該大会の派遣人数よりも多かった場合は、派遣標準 B の条件を満たしたとしても、選考の対象外となる。

- ※ 上記派遣標準記録は、以下に示す 3 回のショートトラック強化部主催タイムトライアルで記録される必要がある。
 - ・ 2025 年 9 月 10 日(水)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
 - ・ 2025 年 9 月 11 日(木)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター
 - ・ 2025 年 12 月 7 日(日)長野県南佐久郡南牧村、帝産アイススケートレーニングセンター

- ※ 過去 12 年間分のワールドカップ(ワールドツアー)の結果をもとに、派遣標準 A は QFs、派遣標準 B は Heats を 2 位以内でクリアし、次のラウンドに進出した選手のタイムの中央値を外挿して 2025/26 シーズンの予測値を算出(Calgary, SLC などの高地のレース、転倒などで極端に遅かったレースは除外して計算)。2.5 周は、500m における 2.5 周通過時の記録をもとに予測値を算出した。